

野菜の生け花で地域貢献

下鹿島婦人会に善行賞表彰

5月10日、天草市民センターで行われた熊本県地域婦人会大会において、下鹿島婦人会が「善行賞」の表彰を受けました。

これは下鹿島婦人会が長年行われている、地域で野菜や花を使った生け花をするボランティア活動が、地域貢献として認められたものです。

この日は表彰に際し、下鹿島婦人会から東家武子熊本県婦人会長へ、母の日に合わせた手作りの花のプレゼントも行われました。

下鹿島婦人会の皆さんは「これから美しい花を皆さまに楽しんでいただけるように、ずっと続けていきたい」と目標を話されました。



▲サプライズプレゼントにびっくり!

朝日の下で白球飛び交う

氷川町早起きソフトボール大会

5月18日から26日にかけて、竜北グラウンドにおいて第10回氷川町早起きソフトボール大会が行われ、7チームの参加がありました。

早朝の爽やかな雰囲気の中、各チームは眠気にも負けず、はつらつとプレー。逆転の一打や華麗な守備に会場は盛り上がりを見せ、予選から見応えのある試合が続きました。

注目の決勝戦は、北竜と竜北クラブの対戦。北竜が自慢の強打で初回に一挙5点を挙げると、竜北クラブもすぐに4点を返し反撃、その後は1点を争う接戦となりましたが、北竜が6対5で逃げ切り、3年ぶり6回目の優勝を飾りました。



▲接戦制し優勝!

体の健康はお口から

歯の祭典

6月6日、氷川町公民館において、氷川町歯の祭典が行われ、前年度を大きく上回る218人の来場がありました。

会場では、歯科医師・歯科衛生士による歯科相談やブラッシング指導が行われた他、介護予防サポーターなどによる高齢者のための口腔ケアコーナーなどのさまざまなコーナーが設けられ、子どもから大人まで楽しめるイベントとなりました。

また「第26回歯の衛生に関する小学生図画ポスターコンクール」および「お口の健康川柳」の募集も併せて行われ、優秀作品は会場に展示されました。



▲会場は多くの人でにぎわいました

「ポスターコンクール優秀作品」

- ・氷川町賞 福嶋 倅佳さん(今)(宮原小6年)
- ・金賞 吉村 智美さん(新田)(竜北東小6年)
- ・金賞 本口 璃名さん(北鹿野)(竜北西部小3年)



▲ポスターの優秀作品は町長室に展示させていただきました



▲ガムをかんで、かむ力を測定

緑いっぱいこの学校へ

竜北東小で緑のカーテン作り

6月2日、竜北東小学校において、緑のカーテン作りが行われました。

これは、植物の生育を学ぶとともに地域交流を深めることを目的としており、株式会社コメリの協賛で、苗や資材などの提供を受け行われたもので、今年で3回目を迎えます。

この日は地域ボランティアとして、老人クラブ連合会の皆さんも参加。1、2年生の児童らは、ボランティアの皆さんに教わりながら、ゴーヤ、ナス、ピーマンの苗を校舎の花壇に植えました。

苗植えを終えた児童らは「いっぱい実がなつてほしい」「大事に育てます」と話してくれました。



▲力を合わせて作業

地域に感謝 功績を称えて

叙位叙勲伝達式

6月16日、役場庁議室において、特旨叙位および特別叙勲伝達式が行われ、藤本町長から遺族に位記および勲記が手渡されました。

受章されたのは、4月26日に亡くなられた元宮原町長の平岡啓輔さん(新村南)、3月28日に亡くなられた元宮原町議会議員の久保田武敏さん(榉)の二人です。

平岡さんは、平成7年から3期10年にわたり宮原町長として在職。氷川町合併後の平成18年から約4年間、氷川町助役、副町長として在職され、町の発展に多大な貢献をされました。その功績から平成26年春の叙勲において、旭日双光章(きよくじつそう



▲ご遺族の平岡美代子さん(中央)、大輔さん(右)

こうしよう)を受章され、それに続く今回の受章となりました。

従六位(じゅろくゐ)の位記を受け取った妻の美代子さんは「夫は大好きなふるさとの皆さまに支えられ、人とのつながりを大切にして、長い間ご奉仕させていただくことができました。感謝していると思います」と述べられました。

また、久保田さんは、昭和63年から宮原町議会議員として3期12年にわたり町議会議員を務められ、町の発展に多大な貢献をされた功績が認められての受章となりました。

旭日単光章(きよくじつたんこうしよう)の勲記を受け取った妻の玲子さんは「夫は地域の皆さまに支えられ頑張つてこれたと思います。皆さまに感謝します」と述べられました。



▲ご遺族の久保田玲子さん(中央)、武徳さん(右)

給食で交流深める

竜北中生徒がボランティアと会食

6月17日、竜北中学校において、フッ化物洗口ボランティアの皆さんと生徒たちの会食が行われました。

これは、町内小中学校で行われている「フッ化物洗口」に協力をされているボランティアの皆さんに、感謝の気持ちを伝え、給食を通じた交流を図ることを目的としています。

ボランティアの皆さんは、1年生から3年生までの6クラスに分かれ、それぞれ生徒たちとともに給食を食べ、交流を深めました。

ボランティアの前村房子さん(上鹿島)は「給食はとてもおいしかった。素直な子どもたちばかりで、楽しい時間でした」と笑顔で話されました。



▲おいしい給食と笑顔でおもてなし